



九中の大絵馬、今年は「日本の犬」

市立第九中学校美術部は、恒例の干支にちなんだ絵馬の制作に取り組み、昨年末、学校近くの高柳天満宮に奉納しました。高さ1.1メートル、幅1.8メートルの見事な絵馬です。

1年生～2年生部員有志が参加し、生徒らの意見をまとめてモチーフを決めたそうです。今回で9年目。「みんな1年間、元気で」と願を掛けました。



日本ハムの吉田投手が市長を表敬

12月26日、市出身でプロ野球・北海道日本ハムファイターズの吉田侑樹投手（23歳）が北川市長を訪ね、9月に挙げた念願の初勝利を報告しました。

北川市長は「おめでとう。プロでの1勝は、大変なことだ。更に体を節制して、新シーズンでも活躍して」と祝福と激励。プロ3年目を迎える吉田投手は「まだチャンスがあるので新人王を目指したい」と応えていました。



三井のお弓行事

市指定無形民俗文化財

「成人の日」の前日の1月7日、美井三町自治会館で三井文化保存会による新春のお弓行事が行われました。

三井のお弓行事は、古くから伝わる友呂岐神社の神事で、地元の新成人の中から選ばれた2人が、12本の矢を的に向けて交互に放ち、当たり具合で今年1年を占います。

井上壬平さんと小林丈さん＝写真左から＝が射手を務め、今年は「比較的穏やかな気候が多いが、大きな地震の予兆があるため注意したい」との占いが出ました。



「しょうごん」で子どもの健康をお祝い

1月6日、3歳になる子どもの厄除（よ）けと健康を願い、地区の子どもたちへの仲間入りを祝う対馬江地区の伝統行事「しょうごん」が対馬江公民館で開かれました。

江戸時代中期に中国から入って来た災いをもたらす神「大將軍」から子どもたちを守るため、厄除けを兼ねて祭りごとをしたのが、しょうごんのいわれです。

今年は8人の子どもの参加し、赤飯や鯛（たい）、かす汁や鰯（いわし）などの祝い膳を囲み、子どもたちの健康と将来の幸せを祈りました。



安全祈願祭

打上高塚町土地区画整理事業

12月25日、1月からの工事に先立ち、安全祈願祭が打上高塚町土地区画整理組合の主催で執り行われました。

この土地区画整理事業は、道路、公園などの公共施設を整備するとともに、東寝屋川駅前線沿道の高度利用を図るために商業施設や病院を誘致するもので、平成32年9月末に完了する予定です。



福祉のまちづくりひろば

11月18日、市立保健福祉センターで「福祉のまちづくりひろば」が行われました。

第2回目となる今回は、市民、地域協働協議会、福祉団体などから30人が参加し、前回に引き続き関西大学教授の所めぐみさんをファシリテーターとして迎え、前回の内容も振り返りながら、福祉課題について意見交換しました。

今後、参加者全員の投票により選定された、「担い手の発掘と養成」「つながりづくり」「情報発信」「居場所づくり」の4つの課題について解決策を考えていきます。



おしゃれな姿、おしどり現る

カラフルなおしどりの雄1羽が昨年12月、寝屋川や打上川治水緑地の池に姿を現しました。

仲の良い夫婦の例えで、名前はよく知られている鳥です。写真を提供していただいた野鳥愛好家によると、山地の池が主な生息場所で、警戒心も強いので市内では非常に珍しいそうです。



チョット寄ってん家 オープン

1月15日、寝屋川市駅前の飲食店内のスペース（桜木町）に新たな福祉拠点「チョット寄（よ）ってん家（か）」がオープンしました。

市内46の社会福祉法人から構成される市社会福祉協議会地域貢献委員会により3月23日（金）までの期間限定で実施され、飲食店の御好意で実現しました。

保育園児や高齢者の作品展示、障害者作業所の物品販売を行うほか、いろいろな相談が受けられるなど、気軽に立ち寄れる居場所です。委員長の大西正禮さんは、「社会福祉法人が一致団結しての拠点づくりの取り組みは府内初。これをきっかけに福祉を身近に感じてもらいたい」と話しました。